

ボッシュ・グループ概要 2026

02 目次

03 ボッシュ・グループ

- 04 主要データ
- 05 ボッシュ・グループ概要
- 07 事業セクター
- 08 取締役会
- 09 グループに関する基本情報
- 10 持続可能性

11 ロバート・ボッシュ財団

13 日本のボッシュ・グループ

- 14 日本のボッシュ・グループ概要
- 15 日本のボッシュ・グループの主要拠点
- 16 日本のボッシュ・グループ事業分野
- 19 雇用主としてのボッシュの魅力
- 20 Work LikeABosch ボッシュの働く環境
- 21 ボッシュ、横浜市都筑区と
「地域活性化に関する包括連携協定」を締結
- 22 社会貢献・サステナビリティへの取り組み
- 23 日本のボッシュ・グループの歴史

24 お問い合わせ先

ボッシュ・グループ

主要データ

04

主要データ

売上高

2025 +0.7%

€ **910**億
¥15.4兆

2024

€ 903億
¥ 14.8兆

資本支出 (有形固定資産)

2025

€ **41**億
¥6,975億

2024

€ 51億
¥ 8,391億

総資産

2025

€ **1,163**億
¥19.7兆

2024

€ 1,128億
¥ 18.5兆

自己資本

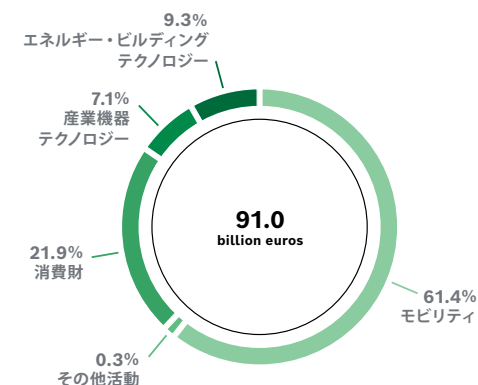
2025 自己資本比率
41.6%

€ **484**億
¥8.2兆

2024

€ 500億
¥ 8.2兆

売上高 事業部門別 割合 (%)



研究開発費

2025 対売上高比率
8.7%

€ **79**億
¥1.3兆

2024

€ 78億
¥ 1.3兆

事業からの 支払金利税金控除前利益

2025 対売上高比率
2.0%

€ **18**億
¥3,084億

2024

€ 31億
¥ 5,113億

従業員数 (12月31日付)

2025

413,000

2024

418,000



500

世界60カ国以上で展開する
子会社および地域法人の数

05 世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。従業員数は41.3万人（2025年12月31日現在）、売上高は910億ユーロを計上しています。現在、事業はモビリティ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュは、人工知能、デジタルイゼーション、電動化、自動化といった社会を形づくる普遍的なトレンドに対し、技術を通じて貢献することを目指しています。ボッシュの地域や業界を横断する多様な事業展開は、革新性と揺るぎない事業基盤を支えています。

ボッシュはハードウェア、ソフトウェア、サービスにおける実績ある専門知識を活かし、さまざまな分野にまたがるソリューションをワンストップでお客様に提供しています。また、ネットワーク化とAIに関する専門知識を応用して、スマートで使いやすく、持続可能な製品を開発・製造しています。ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」なテクノロジーによって、人々の生活の質の向上と天然資源の保護に貢献したいと考えています。

06 ボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュGmbHとその子会社約500社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーとともに、製造、エンジニアリング、販売におけるグローバルなネットワークを展開し、世界のほぼすべての国と地域をカバーしています。技術革新力は、ボッシュの継続的な発展の中核をなすものであり、世界全体で約8.2万人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ（1861～1942年）がシュトゥットガルトに設立した「精密機器と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュGmbHの株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を守るものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュGmbHの株式資本の94%は慈善目的の有限責任会社であるロバート・ボッシュ財団が保有しており、残りの株式はロバート・ボッシュGmbHおよび創業家であるボッシュ家が所有する法人が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有しています。創業者ロバート・ボッシュの遺言に示された使命に沿い、同組織は、特に財務的な独立性を確保しながら、会社の長期的な存続を守るという責務を担っています。

事業セクター



モビリティ

- Bosch eBike Systems
- クロスドメイン コンピューティングソリューション
- エレクトリファイド モーション
- モビリティ アフターマーケット
- モビリティ エレクトロニクス
- パワー ソリューション
- ピークル モーション

- Bosch Engineering GmbH
- ETAS GmbH
- ITK Engineering GmbH
- モーターサイクル&パワースポーツ

産業機器テクノロジー

- ドライブ&コントロール テクノロジー¹
- ボッシュ コネクテッドインダストリー
- Robert Bosch Manufacturing Solutions GmbH



エネルギー・ビルディングテクノロジー

- ビルディングテクノロジー
- ホームコンフォート
- ボッシュ グローバルサービスソリューションズ

- Robert Bosch Smart Home GmbH

消費財

- 電動工具
- BSH Hausgeräte GmbH



他の事業活動

- Bosch Business Innovations GmbH
- Robert Bosch Venture Capital GmbH
- Value Acceleration & Portfolio Companies

1. Bosch Rexroth AG (ボッシュ持株比率100%)

取締役会 概要



シュテファン・ハルトウング

取締役会会長

技術および革新



クリスティアン・フィッシャー

取締役会副会長

消費財



フランク・マイヤー

取締役会メンバー

エネルギー・ビルディングテクノロジー

品質



マルクス・ハイン

取締役会メンバー

モビリティ



マルクス・フォーシュナー

取締役会メンバー

財務



シュテファン・グロッシュ

取締役会メンバー

人事、法務、コンプライアンスおよびサステナビリティ



タニア・リュッカート

取締役会メンバー

産業テクノロジー、デジタルビジネスおよびサービス



カティア・フォン・ラーベン

取締役会メンバー

ビジネスサービスおよびリアルエステート

グループに関する基本情報

グループと組織

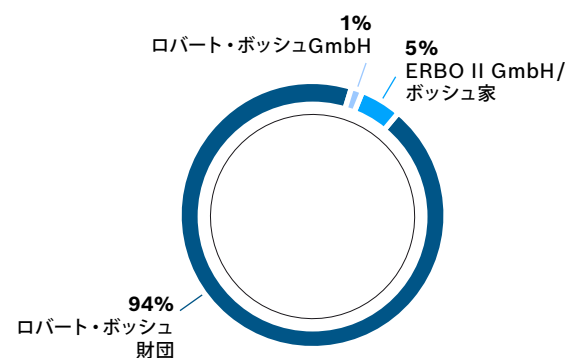
ボッシュ・グループはテクノロジーとサービスのグローバル サプライヤーであり、売上の半分以上を欧州以外で生み出しています。ボッシュ・グループは約 500 社の完全連結対象子会社と世界の 60 カ国以上にある現地法人で構成されています。親会社はドイツのシュトゥットガルトに本社を置くロバート・ボッシュ GmbH です。その始まりは、1886 年にロバート・ボッシュ (1861 ~ 1942) がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」です。ロバート・ボッシュ財団は、1964 年からロバート・ボッシュ GmbH の株式の大半を保有しています。

慈善目的の有限責任会社であるロバート・ボッシュ財団は、現在ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の 94%を保有していますが、ボッシュ・グループの戦略や事業の方向性に影響を及ぼすことはありません。残りの約 5%の株式資本は、非営利法人 ERBO II GmbH を通じて創業家であるボッシュ家が保有し、1%はロバート・ボッシュ GmbH 自体が保有しています。議決権の 93%はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っています。ロバート・ボッシュ工業信託合資会社自体は、株式資本の 0.01%を保有しています。残りの 7%の議決権は創業家であるボッシュ家が保有しています。この株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を守っています。

2025 年末時点で全世界に 41 万 2,774 人の従業員を擁するボッシュ・グループは、モビリティ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの 4 事業セクター体制で運営しています。事業報告も同様にセグメント化されています。

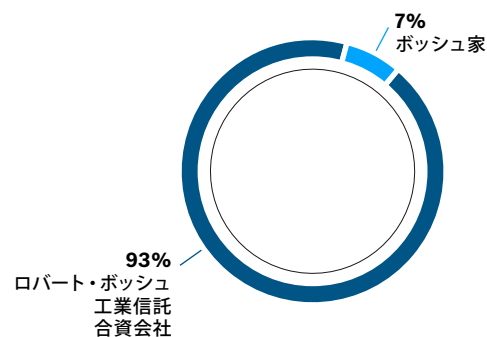
ロバート・ボッシュ GmbH の株主

出資比率
割合 (%)



ロバート・ボッシュ GmbH の株主

議決権
割合 (%)



持続可能性

私たちは、経済的、環境的、社会的に責任ある行動を通じて人々の生活の質の向上に貢献し、現在と将来の世代の暮らしを守りたいと考えています。

気候変動対策

- 1 | CO₂排出量の削減
- 2 | エネルギー効率と再生可能エネルギー

ボッシュは気候変動対策のパイオニアであり、再生可能エネルギーの拡大を推進し、エネルギー効率の向上に継続的に取り組んでいます。

健康

- 1 | 労働安全衛生
- 2 | 環境負荷物質

ボッシュは革新的な製品とサービスを提供し、生産プロセスにおいて人々や環境に危害が及ばないようにすることで、人々の健康に貢献しています。

人権

- 1 | 責任
- 2 | 透明性

ボッシュは、バリューチェーン全体で責任を負い、人権を尊重しています。

ガバナンス

- 1 | 企業倫理
- 2 | プライバシー

適法性の原則の遵守および責任ある公正な事業の慣行は、ボッシュ・バリューの一部であり、最優先事項です。

水

- 1 | 水不足
- 2 | 水質

ボッシュにとって、水はとても大切な資源です。水が不足している地域には特別な関心を払います。

循環型経済

- 1 | 資源効率
- 2 | 二次利用


ボッシュは、エコロジカルフットプリントを削減し、社会的利益を生み出すことに努めています。この取り組みにおいて、ボッシュは循環型経済の原則をもとに推進しています。

ひと

- 1 | 選ばれる企業
- 2 | 多様性、公平性、包括性

魅力的な労働条件は、ボッシュが選ばれる企業であることの証です。多様性、公平性、包括性は、ビジネスにおける長期的な成功の鍵です。



3  すべての人に健康と福祉を	4  質の高い教育をみんなに	5  ジェンダー平等を実現しよう	6  安全な水とトイレを世界中に	7  エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8  働きがいも経済成長も	9  産業と技術革新の基盤をつくろう	10  人や国の不平等をなくそう	11  住み続けられるまちづくりを	12  つくる責任つかう責任	13  気候変動に具体的な対策を
--	---	---	---	--	--	---	---	--	---	---

ボッシュの持続可能性への取り組みについての詳しい情報はこちらをご覧ください。

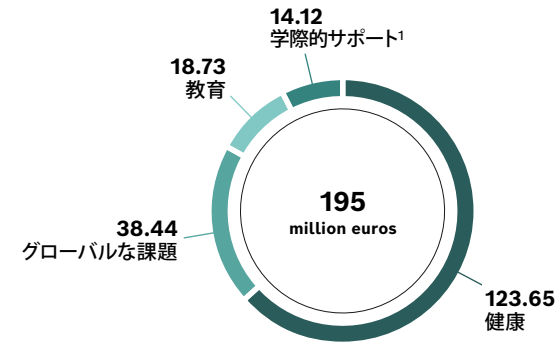
sustainability.bosch.com

ロバート・ボッシュ財団

- 12 慈善目的の有限責任会社であるロバート・ボッシュ財団は1964年の設立以来、創業者ロバート・ボッシュの社会福祉活動を継承しています。60年以上にわたり、資金援助を通じて公正で持続可能な未来のために貢献してきました。その起源は、ロバート・ボッシュの遺言に遡ります。企業家であり慈善家でもあったボッシュは、会社の将来の保証、そして社会貢献活動の継続という、二つの使命を掲げました。ロバート・ボッシュ財団は、グローバルな課題、健康、教育に関するプロジェクトに資金援助を行い、ドイツ国内のみならずグローバルで活動しています。

2025年の助成金総額

単位：100万ユーロ



1. うち4.35百万ユーロがウクライナ向け

日本のボッシュ・グループ

14 日本のボッシュ・グループ概要

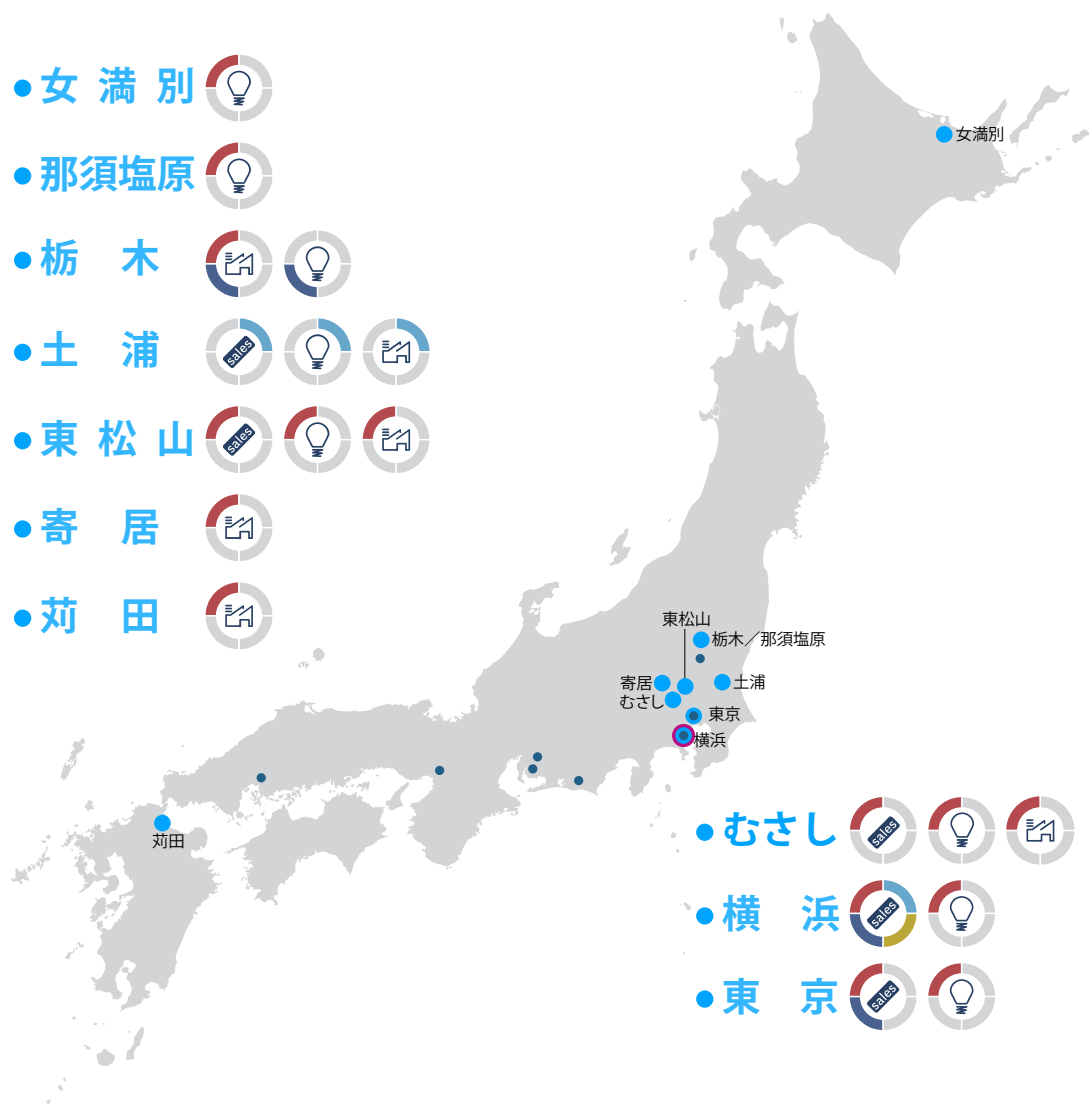
ボッシュは、1911年（明治44年）に日本で事業を開始し、2026年で115周年を迎えました。事業を開始して以来、ボッシュ・グループは4つの事業領域（モビリティ、産業機器テクノロジー、エネルギー・ビルディングテクノロジー、消費財）において、強固な基盤を築き上げ、日本のお客さまのニーズに応じたサービスや製品を提供してきました。これらの事業領域でボッシュ・グループのコーポレートスローガンである「Invented for life」を体現する革新的なソリューションを提供し、ボッシュ・グループは日本社会の生活の質の向上に取り組んでいます。

2025年12月31日現在



15 日本のボッシュ・グループの主要拠点

- 女 満 別
- 那 須 塩 原
- 栃 木
- 土 浦
- 東 松 山
- 寄 居
- 刈 田



- む さ し
- 横 浜
- 東 京

ボッシュ株式会社：本社（横浜）
 女満別テクニカルセンター、栃木工場、塩原試験場（テストコース）、
 宇都宮事務所、東松山工場、寄居工場、むさし工場、横浜事務所、
 浜松事務所、豊田事務所、大阪事務所、広島事務所、刈田事業所

ボッシュ・レックスロス株式会社：本社（横浜）
 土浦工場、ヘグランド営業部/横浜サービスセンター、
 名古屋営業所/名古屋サービスセンター、大阪営業所

イータス株式会社：本社（横浜）
 宇都宮オフィス、名古屋オフィス、広島オフィス

ITKエンジニアリングジャパン株式会社：本社（東京）

ボッシュグローバルソフトウェアテクノロジーズ株式会社：本社（横浜）

ボッシュホームコンフォートジャパン株式会社：本社（東京）
 栃木工場

ボッシュ株式会社 連結子会社（国内）
 株式会社フジアタック
 群馬精機株式会社
 株式会社エフエイニイガタ
 関東精圧工業株式会社
 ボッシュエンジニアリング株式会社
 ボッシュサービスソリューションズ株式会社

ボッシュ株式会社 子会社（海外）
 ボッシュオートモーティブタイランド

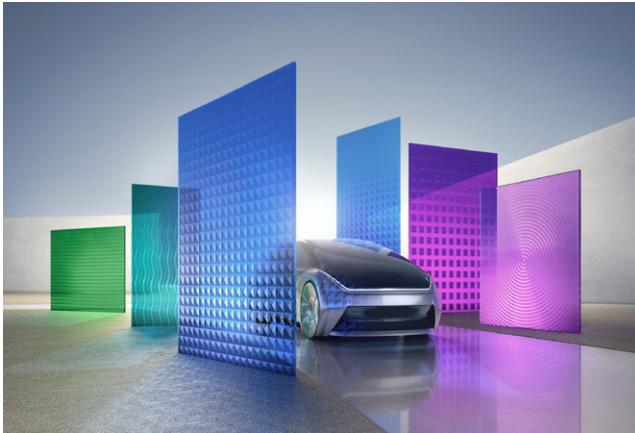
○ 本社 ● 事務所
 営業拠点 研究開発拠点 製造拠点

モビリティソリューションズ 産業機器テクノロジー
 エネルギー・ビルディングテクノロジー 消費材

16 日本のボッシュ・グループ事業分野

ボッシュは日本においても、モビリティ、産業機器テクノロジー、エネルギー・ビルディングテクノロジー、消費財の4つの事業セクターで活発に事業を展開しています。

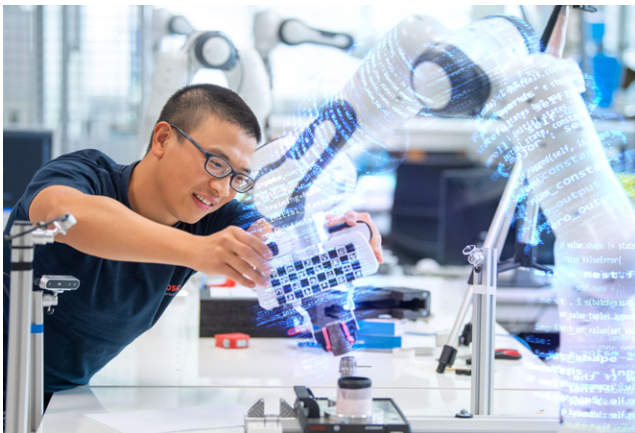
モビリティ



エネルギー・ビルディングテクノロジー



産業機器テクノロジー



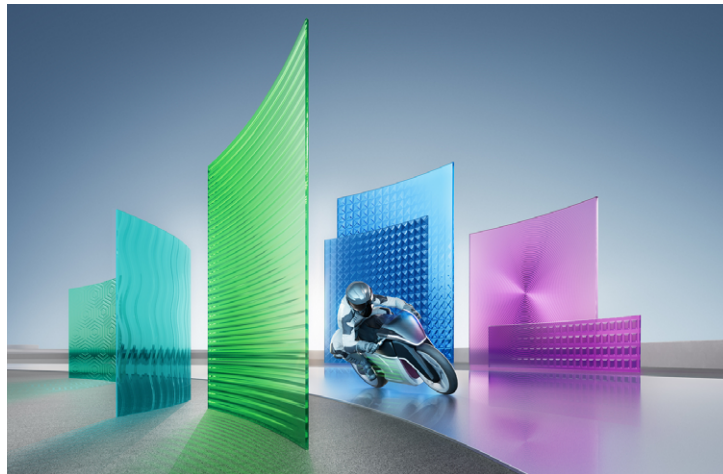
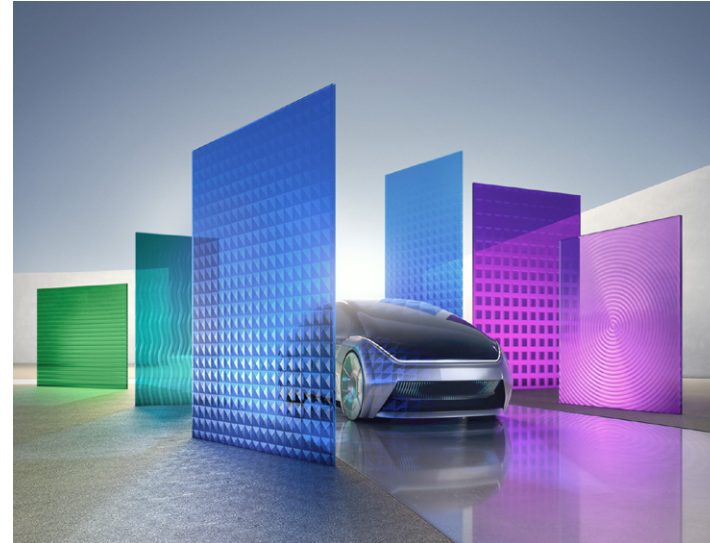
消費財



モビリティ

日本でもモビリティは、4つの事業セクターの中で最大の売上を占めています。安全でサステナブルかつ魅力的なモビリティを目指し、お客様にモビリティのためのトータルソリューションを提供します。

その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー/パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバー アシスタンス システム/自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントやVehicle-to-Vehicle (車車間) およびVehicle-to-Infrastructure (路車間) 通信、モビリティアフターマーケット向けの補修部品/診断整備機器/整備工場ネットワーク (ボッシュカーサービスなど) です。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置ESC (エレクトロニック スタビリティ コントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。



加えて、ボッシュは、四輪車の各技術領域における知見や強みを生かし、二輪車やパワースポーツ車両をより安全で効率的、さらに楽しいものにする包括的なソリューションを提供しています。

日本がモーターサイクル&パワースポーツ事業部門のグローバル本部に加え、エンジニアリング分野においてもアシスタンスシステム開発ならびに先行技術研究、システム開発の本部機能を担っており、全世界のお客様とのビジネスや最新技術の開発をリードしています。

産業機器テクノロジー

ボッシュ・グループ内の産業機器テクノロジーを担うボッシュ・レックスロス株式会社は、油圧機器・システム、サーボモーター、インバーター、タイトニングシステム、コンベア搬送システム、溶接機コントローラー、ファクトリーオートメーション関連機器等の製造・販売・サービスを、日本の産業分野に幅広く展開しています。

販売する油圧機器・システムは、高効率の電動機器・コントローラーと、ハイパワーの油圧の特性を活かし、産業界の多彩なニーズに的確に対応すると共に、建設機械の電制化や排気ガスのクリーン化、産業機械の安全性に配慮した製品の展開も進めています。またIoT対応の製品展開を行うことにより、従来からの製品群と併せて建設機械、一般産業機械、ファクトリーオートメーションなど幅広い分野でDX、サステナビリティに積極的に貢献し、多くのプロジェクトを進めています。



消費財

ボッシュは電動工具の技術革新をリードしてきた世界的なパイオニアです。1928年に世界で初めてモーター内蔵式手持ち型電動工具を発売しました。以来、世界初の破つりハンマー、ハンマードリル、ジグソー、近年では世界で初めてリチウムイオン電池を搭載したバッテリー工具を開発しました。さらに、最新のテクノロジーを搭載したメジャーリングツールは、レーザー距離計等の新たな市場を創造しています。日本においてもボッシュはその歴史に恥じない高品質・高性能かつ優れたデザイン性をもったトップブランドとして圧倒的な評価を確立しています。そして、プロフェッショナル用途からDIY用途まで、幅広いユーザーニーズに合った製品開発をモットーに、安全で品質の高い製品をお届けしています。



エネルギー・ビルディングテクノロジー

ボッシュホームコンフォート・グループは、地域のニーズに適応した高効率な暖房・換気・空調 (HVAC) ソリューションをグローバルに提供しています。2025年8月にジョンソンコントロールズおよびジョンソンコントロールズ日立空調から住宅および小規模商業施設向けHVAC事業を取得し、事業規模を大きく拡大しました。日本ではボッシュホームコンフォートジャパン株式会社が、日立ルームエアコン「白くまくん」を開発、製造しています。

ボッシュグローバルサービスソリューションズは、自動車、車両管理、物流業界向けに、モビリティ・サービスおよびデジタルプラットフォームを提供しています。2016年に設立された日本拠点のボッシュサービスソリューションズでは、自動車事故発生時に車両からの自動通報を受け、消防などの公共救援機関と連携して迅速な救急要請を行う自動車事故緊急通報 (e-Call) のコールセンター事業を、24時間365日体制で運営しています。あわせて、グローバルネットワークを活かし、ITソリューションや業務支援などのサービス事業もニーズに応じて提供しています。



雇用主としてのボッシュの魅力

ボッシュの企業文化

「経営（議決権）」と「株主（利益配当）」を分離した 世界でも珍しい独自の経営体制

安定経営と長期的な視野に立った研究開発に取り組めるほか、再投資以外の利益はロバート・ボッシュ財団を通じて、すべて社会に還元されています。また独自性は、製品開発の領域でも保たれており、特定のメーカー系列に属さないため、革新的なアイデアを実現しやすい環境が整っています。

「多様な個性、経験、考え方が尊重される グローバルな環境」

150を超える国と地域で事業を展開するボッシュにおいて、ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（DEI）は重要な経営戦略のひとつです。DEIの推進は、多様な顧客・マーケットニーズに対応し、イノベーションを生み出すために不可欠です。ボッシュでは、長年DEIの推進に取り組んでいます。また、様々な経験や視点を持つすべての人を巻き込み、均等な機会を提供することで、私たちの潜在能力を最大限に引き出し、従業員同士がオープンで対等なコミュニケーションができる企業文化が根付いています。



新卒採用HP

<https://saiyo.boschjapan-brandtopics.jp/>

キャリア採用HP

<https://saiyo.boschjapan-brandtopics.jp/mid-career/>

インターンシップHP

<https://saiyo.boschjapan-brandtopics.jp/intern/>

Flexible Work：在宅と出社の割合はチームで決める、 ハイブリッドな働き方

Flexible Workはボッシュがグローバルで推進する、出社とリモートを組み合わせたハイブリッド型の「新しい働き方」です。チームメンバーとの話し合いを通じて、入社率を含む最適な働き方を自分たちで決定することが出来ます。

ボッシュでは2016年から在宅勤務制度を導入していますが、コロナ禍を経て以前の働き方に戻すのではなく、“従業員を信頼してより柔軟的に働ける制度を導入する”ことを選びました。相互信頼をベースにした働き方が出来る環境は、ボッシュの強みそのものです。



20 Work LikeABosch ボッシュの働く環境



ひとりひとりのキャリアを切り拓く、
豊富なプログラム

ボッシュでは、年間約300回・110種類以上の多彩な研修を実施しています。語学研修からファシリテーション、AIやデジタル研修、リーダーシップ研修まで、一人ひとりの成長を支える学びの機会を提供しています。

年間延べ9,600名以上が研修に参加しており、学び続けるカルチャーがボッシュ全体に根付いています。



仕事もプライベートも楽しむのが、
ボッシュスタイル

毎年の有休取得実績は約100%を継続しているほか、さらに、育休取得率は女性の100%*、男性は70%*と、性別を問わず育児と仕事を両立できる環境です。

※2025年実績



合言葉は、
“リーダーシップ全員発揮”

役職に関わらず全従業員にリーダーシップを求めている、手を挙げれば事業部の垣根を超えた従業員とチームを組み、様々な活動に参加ができます。

21 ボッシュ、横浜市都筑区と「地域活性化に関する包括連携協定」を締結

ボッシュは2024年11月19日、横浜市都筑区と「地域活性化に関する包括連携協定」を締結しました。

本協定を通じて、ボッシュと横浜市都筑区は連携を強化し、地域のさらなる活性化を推進しています。

本協定では、ボッシュの本社、都筑区民文化センター（愛称：ボッシュホール）、両施設間に位置する全天候型広場を含む敷地一体を「Bosch Forum Tsuzuki（和名：ボッシュ・フォーラム・つづき）」と命名することを定めています。

全天候型広場は、愛称「プラッツ (Platz)」として一般利用を可能としており、地域における各種イベントの開催などに活用されています。

今後、ボッシュと都筑区はBosch Forum Tsuzukiを中心に、都筑区における賑わい創出や文化振興などを目的に、さまざまな取り組みを進めていく予定です。



社会貢献・サステナビリティへの取り組み

ボッシュは、創業者ロバート・ボッシュの「社会奉仕」の精神に基づき、社会との調和を図り、様々な分野で社会貢献活動を実施しています。

カーボンニュートラルの達成

ボッシュ・グループは2020年以降、全世界470超の拠点でカーボンニュートラルを達成しています（スコープ1および2：温室効果ガスプロトコル準拠）。これは、エネルギー効率の向上、再生可能エネルギーによる自家発電、再生可能エネルギー電力（グリーン電力）の調達、そしてCO₂残余排出量をカーボンクレジットの購入によりオフセットするという4つの施策によって達成しています。



ボッシュ・グループのサステナビリティ戦略に関する詳細は、sustainability.bosch.comをご確認ください。

TABLE FOR TWO

日本のボッシュ・グループでは、社員食堂でヘルシーなメニューを提供し、その売上げの一部を開発途上国の学校給食として寄付する「TABLE FOR TWO」を2010年より実施しています。これは、開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病の解消に同時に取り組む活動で、食堂で栄養バランスのとれた低カロリーなメニューを選ぶと、食事代金の一部が寄付されるプログラムです。



地域貢献活動

日本のボッシュ・グループでは拠点ごとに、地域で開催される行事への参加、森林の保全活動や、見学会の受け入れ、職業体験、スポーツ教室、コンサートの開催など多様な活動を行い、地域との共存共栄を目指しています。



STEAM教育

ボッシュ株式会社は、さまざまなバックグラウンドを持つ子どもたちへ、AIやIoTといったテクノロジーや未来のクルマなどをテーマに学習の機会を提供しています。2024年には「未来のクルマを考える」をテーマに小学校やオンラインで子ども向けワークショップを実施しました。ボッシュは最新のテクノロジーに興味を持ち、将来的に活用ができる人材育成を目指しています。



日本のボッシュ・グループの歴史

1911

ボッシュが日本へ進出。
代理店を通じて、製品の販売および
修理を開始



1939

ディーゼルエンジン用燃料噴射ポンプの
国産化を目的に、ボッシュライセンスのも
と、エンジンメーカーの出資によりデー
ゼル機器 (株) が誕生

1972

ボッシュ100%出資の日本法人として、
ロバート・ボッシュ・ジャパン (株) 設立
(1985年、ボッシュ (株) に社名変更)



1990

デーゼル機器 (株) が社名を
(株) ゼクセルに変更

1992

横浜に研究開発拠点である
テクニカルセンターを設立

1997

ボッシュが (株) ゼクセルへの出資率を引上げ
(13.9%→30.1%)、筆頭株主となる

2000

ボッシュ (株) の自動車関連直納 (OEM) 事業を (株)
ゼクセルへ移管統合、(株) ゼクセルは (株) ボッシュ
オートモーティブ システムへ社名変更

2001

ドイツ・ボッシュのMannesmann Rexroth AG
買収により、日本ではレックスロスオートメーショ
ン (株) と内田油圧機器工業 (株) がグループに加入

2002

(株) ボッシュ オートモーティブ システム、
ボッシュ ブレーキ システム (株)、ボッシュ
エレクトロニクス (株) の3社が合併

2005

ボッシュ株式会社 (Bosch K.K.) と (株) ボッシュ
オートモーティブ システムが合併し、新会社の社
名を「ボッシュ株式会社」へ変更

レックスロス・オートメーション株式会社と内田
油圧機器工業株式会社が合併し、新会社の社
名を「ボッシュ・レックスロス株式会社」へ変更

2008

ボッシュ (株) がボッシュ・グループの
100%出資子会社となる

2010

ボッシュ (株) 横浜開発センター拡張
工事竣工、および女満別テストコース
の拡張工事終了



2015

二輪車向け事業を独立させた事業部門
「モーターサイクル&パワースポーツ」
を新設、本部を横浜に設置

日本で自動運転の公道試験を開始

2016

ボッシュeCall (緊急通報) サービスを提供開始

2019

二輪車向け安全運転支援システムの公道試験を開始



2021

ボッシュ株式会社内にクロスドメインコンピューティ
ングソリューション事業部を設立、車両アーキテクチャ向
けソフトウェア集約型システムをワンストップで提供

2022

新本社兼研究開発施設および都筑区民文化センター
(仮称) の建設 着工 (横浜市都筑区)

2024

ボッシュ株式会社 本社移転

新本社兼研究開発施設およびボッシュ ホール
(都筑区民文化センター) の竣工

2025

ボッシュ、ジョンソンコントロールズと日立から住宅お
よび小規模商業施設向けHVAC事業を取得

これに伴い、日立ジョンソンコントロールズ空調株式
会社が、ボッシュホームコンフォートジャパン株式
会社に社名変更

お問い合わせ先

ボッシュ・グループ本社(ドイツ)の住所および電話番号

Robert Bosch GmbH
Postfach 10 60 50
70049 Stuttgart, Germany

Phone +49 711 811-0
contact@bosch.com
www.bosch.com

ボッシュ・グループのサステナビリティ レポート:
sustainability.bosch.com

日本のボッシュ・グループに関するお問い合わせ先

電話番号:0800-888-4000
(フリーコール、日本国内のみ可能)
045-605-3000 (有料)
contact@jp.bosch.com
www.bosch.co.jp

報道関係対応窓口

corporate department Communications and Governmental Affairs.
[コーポレート コミュニケーションおよび政府関係]
ボッシュ メディアサービス:
www.bosch-press.com

ボッシュ・グループの求人情報についての窓口
corporate department Human Resources
[コーポレート人事部]
www.bosch.com/careers

ボッシュ・グループとの取引を希望される企業さまとの窓口
corporate sector Global Business Services
[コーポレートグローバルビジネスサービス]
www.purchasing.bosch.com

年次報告書のウェブバージョン:
annual-report.bosch.com

